

平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	郡上市	学校名	郡上市立 郡上東中学校			
校長名	小田 松尚	対象学年	2・3年	人数	37人	
活動名	ふるさと学習		時間数	20時間	継続年数	5年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [ ] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [ ] ③ 文化（芸能・芸術） [郡上踊りお囃子, 郡上陣屋太鼓, 神楽笛, 陶芸・茶道] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [ ] 5 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [ ] 6 その他（ ） [ ]					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門知識や技術が豊富な地域講師を継続して招聘することで、異動や分掌等による担当教員の変更に影響を受けず、毎年活動が継続できている。</li> <li>・ 地域の各種団体と連携を図り、祭りやイベントへの参加と文化祭での発表を恒例にすることで、学習成果の発表の場を確保し、生徒の自信や達成感につないでいる。</li> </ul>					
<p><b>1 ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的な技術や知識をもつ地域人材の教育力を活用し、郷土に根付いた文化や技能を習得することによって、ふるさとに対する郷土意識を高める。</li> <li>・ 技能を習得する過程において、積極的に講師に働きかけたり、互いに励まし合ったりして、協働的に取り組む態度を育てる。</li> </ul> <p><b>2 活動の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間 平成27年 6月 9日～11月17日（1回2時間×10回）</li> <li>・ 分野 【郡上踊りお囃子】 【郡上陣屋太鼓】 【神楽笛】 【陶芸・茶道】</li> <li>・ 年間計画           <ul style="list-style-type: none"> <li>6月 「活動内容を知り、見通しをもつ」</li> <li>7月 「活動に慣れ、基本を学ぶ」</li> <li>8・9月 「地域の行事に参加したり、課題を捉えて練習したりする」</li> <li>10月 「仲間を意識して全体で揃える」</li> <li>11月 「文化祭本番を意識して発表の練習をする」（別紙「年間計画」参照）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のボランティア指導者の協力を得て、「ふるさと学習」に取り組んでいることを、学校だよりやホームページ等を通して地域住民に周知している。</li> <li>・ 和良振興事務所や和良おこし協議会、郡上踊り保存会、地域公民館等地域の各種団体と連携して、地域の祭りやイベントに参加している。今年度実績は以下のとおり（予定も含む）である。           <ul style="list-style-type: none"> <li>8/13 西和良ふるさとまつり, 8/14 ふるさと和良町納涼夏まつり, 8/29和良おこし協議会TV収録</li> <li>10/12 戸隠神社祭礼, 10/26 和良鮎まつり, 11/4 老人介護福祉施設訪問, 1/1ニュー・イーズ・マラソン</li> </ul> </li> <li>・ 地域の伝統文化を学び、継承している生徒たちの取組が評価され、岐阜県ユネスコ協会の青少年グランプリ教育賞を受賞した。</li> </ul> <p><b>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</b></p> <p>活動そのものへの興味から取組を始めた生徒たちが、その活動の内容を深く知ったり、地域講師との触れ合いを深めたりすることによって、それぞれの文化が多くの先人の手で大切に守られてきたことを実感し、自分もその担い手の一人として次の世代に伝承していこうという意欲をもつことができた。そのため、地域で行われる練習にも進んで参加をし、地域との連帯感を高めながら、ふるさとへの誇りと愛情を育むことにつながっている。</p>						